

全国一般神奈川

発行者
全国一般労働組合全国協議会神奈川
横浜市中区翁町 1-5-14
新見翁ビル4F
TEL. FAX.
045-319-4391

連帯の力で命と生活を守る闘いに取り組もう！

地域合同労組としての強みを労使交渉、組織拡大に生かしていこう！

2026年

年頭挨拶

執行委員長

八木均



新年あけましておめでとうございます。私たち全国一般神奈川も昨年の定期大会で大幅に変わった新執行部体制の下で、初めての年越しをむかえることになりました。

私たちを取り巻く環境は、政治情勢においては、昨年の参院選での与党敗北を受け、公明党の連立離脱、日本維新の会との高市「自維連立」政権発足から国民民主党との政策合意など、政党間の思惑が行き交い混乱化しているようにも見えます。さらに高市政権は防衛費大幅増額という軍事大国化を2年前倒ししてまで推し進めるだけでなく労働時間規制の緩和にまで踏み込んでいます。最悪の人権侵害と言えざる戦争や過労死を起こさせないために組合として反戦、反基地、労働法制改悪阻止の行動を継続していくことが必要です。

一方で私たち中小、

非正規労働者の実態は、物価高に賃金上昇が追い付かず、実質賃金の低下に歯止めがかからない状況です。少子高齢化で各職場において労働者不足が顕在化して、いわば売り手市場という状況にもかかわらず実質賃金が上がらない、この状況に組織率の低下が進む労働組合としてのどうのように取り組むのか、存続意義が問われます。特に社会機能の維持に欠かせないとされるエッセンシャルワーカーの労働条件や職場環境の悪化により、訪問介護難民などまさに医療崩壊や地域社会の解体の危機に直面しています。一部の企業、投資家の利益優先の国家運営の実態を暴き、最賃の闘いへの参画強化など、弱者切り捨て的な国の政策の制度設計についての改善を、現場の担い手であると同時に生活を営む労働者の立場から要求していくことが労働組合に求

められます。
職場に労働組合を根付かせる一年にしていきたいと思います

労働組合にとって、憲法で保障された労働三権のもと対等な立場で使用者と交渉できることが最大の武器です。要求―交渉―合意（協定）の実績を積み重ねていきます。特に労働相談から加入した組合員の職場での労使関係の構築が課題となります。同時に地域合同労組としての強みを、労使交渉、職場内組織拡大に生かしていくことができるような具体的な取り組みに注力していきましょう。

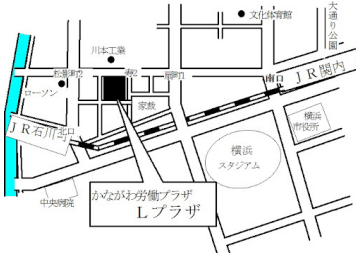
労力と知恵を結集して争議に勝利しよう

ビステオンの不当解雇撤回裁判、テクノウエーブの中労委不当労働審判に立って、誠意クニックの県労委不当労働申し立ての争議に全力で取り組みます。当該を含め労組員間の問

神奈川県共闘 2026春闘学習会

全国一般全国協議会の大野委員長を招き、26 春闘取り組みに向け、私たち労働者を取り巻く情勢や闘いの課題を共有したいと思います。大勢の仲間の結集により 26 春闘の闘いのスタートを切りましょう！

- ★日時:1月30日(金)18:30～(終了後旗開き)
- ★場所:かながわ労働プラザ(Lプラザ)
- ★講師:全国一般全国協 大野 隆委員長



題意識の共有を深め全面勝利を目指していきます。ともに一年頑張りましょう。宜しくお願いします。

スケジュール

- 1月14日 20時 事務所・LINE 神奈川合同支部会議
- 1月17日 13時 南生田 らぼおの樹会議
- 1月17日 15時 事務所 神歯信栄サービス会議
- 1月17日 16時 厚木アミューエイボン全体会議
- 1月18日 10時 事務所 機関紙発送作業
- 1月18日 14時 寿公園 寿労働相談
- 1月19日 13時 会社 グローアーカー団交
- 1月19日 19時 事務所 労働相談会議
- 1月20日 15時 本社 K K エクスト団交
- 1月22日 19時 事務所 県共闘幹事会
- 1月23日 16時 穂積事務所 ビステオン法対
- 1月23日 19時 藤沢 郵政南関東支社団交
- 1月24日(25日) 南部労政会館 全国協各県代 分科会・講演・集約
- 1月25日 10時・11時 事務所 PFT会議・郵政対策会議
- 1月25日 14時 事務所 第4回支部代表者会議
- 1月26日 17時30分 横浜西口 JAL横浜西口情宣行動
- 1月27日 18時30分 旭区民館 鯉住宅団交
- 1月28日 10時30分 中労委603 テクノウエーブ中労委第1回調査
- 1月30日 18時30分 Lプラザ 県共闘2026春闘学習会

今後まとめることとなる。そして相談コーナーでは、相談のきっかけとなればとインスタントコーヒーを提供しているが行列ができるほどの大人気で寒い中で配食を待つ仲間には歓迎された。

昨年、10月、自民党初の女性総裁となった高市早苗氏は「私自身がワーク・ライフバランスという言葉を捨てます。働いて働いて働いて働いて働いて働いて働いて」と宣言した。今の時代、ワーク・ライフバランスや過労死が問題となっている中での発言で、それは働き方改革(労働時間規制緩和)に大きな影響を与えるのではないかと危惧している。

また、日本は、6人に1人が相対的貧困状態にあるといわれており、誰もが突然に貧困生活に追い込まれることを考えれば、行政によるセーフティーネットの拡充は欠かせないのだが現実には厳しい。憲法25条では、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利(生存権)を国民に保障している。憲法を活かし安全で安心して暮らせる社会に思いを馳せる第52次寿越冬闘争参加となった。(佐藤)

この1年間の職場での取り組みや地域での闘いと全国一般の仲間との連帯を確認してきました。今後の方針では、横浜市での労働条件改善、賃上げ、職場での組織化を引き続き進めること。自民・維新政権下での物価高騰・行政改革(賃金・労働条件の切下)に対する闘いを地域・全国の仲間と取り組むこと。そして私たち横浜市労働者組合は高市政権が進めている9条改憲・軍拡、原発再起動や台湾有事を口実にし沖縄への基地強化、差別や排外主義を扇動した戦争への道を許さない闘いを地域・全国の仲間と共に闘うことを採択しました。26春闘勝利へ！

団結して闘おう！(河野)